



## ノロウイルス入院顛末記

### 「病院探しで30分」

家族から、嘔吐と下痢が止まらないと連絡が入り、救急相談センター（#7119）に連絡したのが午前3時35分。看護師さんに電話で状況を説明すると救急車を手配してくれました。

救急車は家族の家から10m程離れた場所に止まり、3人の救急隊員が対応してくれました。車内で血圧や熱などバイタルチェックをしながら、病院探しです。あちこちの病院に連絡してもらってもベットの空きがないとのことで、やっとA病院が受け入れてくれました。

水を飲んでも嘔吐してしまう状態で、まず4人部屋へ入院。

翌朝、ノロウイルスとのことで個室へ移りました。熱は38.5度まで出て1日食事が取れませんでした。2日目には熱も下がり、昼からお粥が少し食べられるようになり、3日目に退院しました。

ノロウイルスは感染性胃腸炎です。予防は手洗いです。

ノロウイルスに汚染された二枚貝の生や加熱不足のものを食べたり、感染した人が調理した汚染された食品を食べたり、ノロウイルスを含む便や嘔吐物を処理した後、付着したウイルスや残ったウイルス

スが口から入り込む経口感染により感染します。潜伏期間は24〜48時間、症状は24〜48時間続きます。便臭のない水様便と、噴水状の嘔吐は、ノロウイルスの疑いがあります。二次感染を防ぐには次亜塩素酸（ハイター）**注**カラーハイターは違います）での消毒か、感染者の食器を85℃以上で1分間加熱、また衣類は85℃以上で1分間アイロンを当てるようにします。

A病院の入院費用4万5930円でした。救急で搬送されて入院期間が短かったためでしょうか。事前に払う入院保証金5万円（個室、自費の場合は10万円）の請求はありませんでした。

A病院の場合、会計は15日、末日締めで4日位に請求が来て一週間以内に支払いになります。オムツ等の持込みはできず、尿取りパット50円、パンパース・紙オムツ100円、リハビリパンツ150円となっていました。また、院内感染を防ぐ為にタオルセット（フェイスタオル3枚・フェイスタオル1枚・バスタオル2枚）が200円（一日）、これに肌着1枚を足すと250円（一日）がかかります。

請求書の内訳を見ると、保険分が2万4460円で、残り2万1470円（個室料1万5千円含む）が、自費になります。

ノロウイルス検査も自費で便から採取で15分で判明するのですが、3570円でした。

退院は、その日に医師が診察し退院の判断が出てからのことでしたが、医師の診

察はないまま、退院の指示が出て、今回は午前中に退院して精算となりました。

退院時に会計する段階で金額が判明しました。タオルのリース、入院室料差額徴収に書きました。これらの説明は事前には受けておらず、また、診療明細表も渡されませんが、どのような内容の投薬・注射・検査・検査結果の説明もない状態でした。

受け入れてくれて感謝しておりますが、インフォームド・コンセント（投薬・手術・検査など 医療行為に対して治療・治験の内容をよく説明を受け十分理解した上で対象者が自らの自由意思に基づいて医療従事者と方針において合意する）は、行われていませんでした。

また、ノロウイルスであるにも関わらず、退院証明書に、感染性胃腸炎と書かれず、急性胃腸炎、脱水症として書かれていたのも腑に落ちないことでした。

緊急入院の場合、手持ちのお金がないと厳しいですね。

A病院で良かったのは、個室料が安かったことです。10年近く前、B病院にヘルニア手術で入院した時は、部屋が空いてない為に2人部屋で一日2万円でした。

南千住包括支援センター（TEL3805-5702 午前8時30分〜午後5時15分 曜々土曜）では、65歳以上の方が入院となった場合、適切な病院を探し、交渉してくれます。